
令和3(2021)年度病害虫発生予察特殊報第1号

令和3(2021)年7月29日
栃木県農業環境指導センター

トビイロシワアリのなすほ場での発生について

1 害虫名 和名：トビイロシワアリ（アリ科フタフシアリ亜科シワアリ属）
学名：*Tetramorium tsushimae* Emery, 1925

2 発生作物名：なす

3 発生経過

令和3(2021)年7月に県東地域の露地なすほ場（1ほ場）において、一部の株が萎凋又は枯死する被害が確認された（図1）。被害株の地際部にアリの寄生と食害痕が確認され、採集したアリを農林水産省横浜植物防疫所に同定依頼した結果、トビイロシワアリと同定された。

本種による農作物への被害は、これまでに福岡県、千葉県、広島県、香川県、佐賀県、長崎県、滋賀県、山口県、群馬県、茨城県、静岡県、埼玉県、長野県、新潟県、東京都、石川県、神奈川県、福島県及び高知県の19都県において、なす、トマト、キャベツ、ブロッコリー、はくさい、かんきつ、ばれいしょ、アスター、はばたん等で報告されているが、本県における被害確認は初である。

4 被害の特徴（図1，2）

株元に土を盛り、地際部の表皮を食害する。茎又は花への被害も報告されている。地際部に激しい食害を受けた株は生育不良症状を示し、定植直後などの若い株では萎凋又は枯死することもある。

5 形態（図3，4）

成虫（働きアリ）の体長は約2.5mmで、体色は褐色から黒褐色。触角は12節。頭部及び胸部表面は縦じわに覆われる。前伸腹節後部背方に一对の歯状突起を有する。腹柄節は2節。

6 生態

屋久島以北の日本各地に分布し、野外においてごく普通に見られる在来種である。開けた草地の石下や草本植物の株元に営巣する。巣の規模は大きく、1つの巣に多くの女王アリを有する。

雑食性で、昆虫や植物の種子、甘露又は樹液などを摂食する。

7 防除対策

現時点で本種に適用のある農薬はない。

深耕、かん水等による巣の破壊や、ほ場周辺の除草などの物理的、耕種的防除に努める。

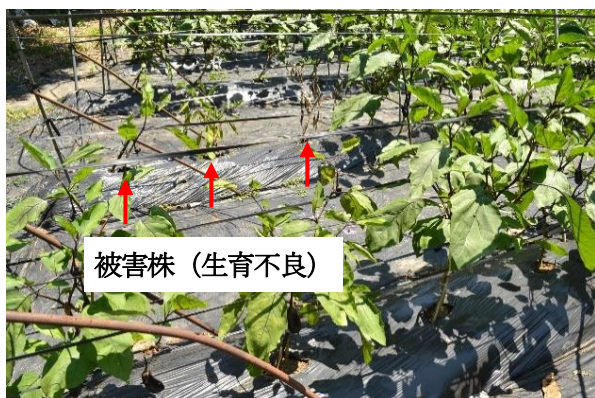


図1 ほ場被害



図2 株元の食害痕

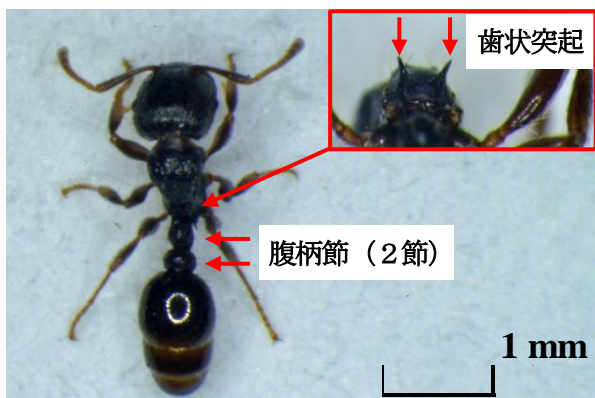


図3 トビロシワアリ成虫 (背面)



図4 トビロシワアリ成虫 (側面)

詳細は、農業環境指導センター (Tel 028-626-3086) までお問合せ下さい。
 病害虫情報発表のお知らせはツイッター「[栃木県農政部 \(@tochigi_nousei\)](#)」、農業環境指導センターホームページ (<http://www.jpnp.ne.jp/tochigi/index.html>) でもご覧になれます。